

# 石神中学校だより 3号

発行日：令和2年 5月19日

2020重点目標〈自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒〉 文責：校長 佐藤恭司

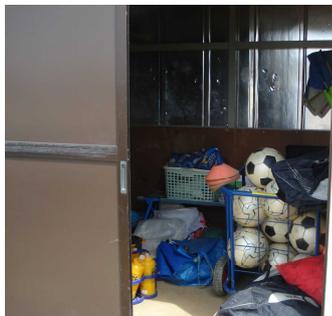
## 全校登校始まりました



距離感を意識した体育の授業

政府の緊急事態宣言の解除を受け、福島県では学校の一斉臨時休校の解除を決定しました。南相馬市教育委員会からの指示を受け、本校で18日(月)は、3学年の分散登校を実施し、19日から全校生徒対象の登校日としました。25日からの学校再開に向けて、通常の学校生活を送れるようにするための準備期間と考え、さらに生徒の心身の健康観察や3月末履修分の学習及び新たな単元の学習等を行います。5月22日から6日間、全校生徒を対象とした担任による教育相談を行います。臨時休校が続き、学習や生活の悩み、中体連総合大会、吹奏楽コンクール各大会中止における精神的な不安感や今後に向けた意欲、目標の持ち方などを話し合いを通して、生徒の思いや悩みを共有したいと考えています。本校では、引き続き、校舎内の換気、衛生管理に努め、三密にならないよう工夫しながら、授業を進めていきたいと思えます。□19日全校登校日の初日に3、2年生が所属する各部ごとのミーティングが行われました。顧問から中体連や吹奏楽コンクール各大会が中止になった経緯や今後に向けての方向性と目標なども話し合われました。3年生には、6月末まで通常通りの部活動を行い、本人と保護者の希望があれば7月末までの部活動を認めることとしています。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

## サッカー部用具倉庫修理完了



サッカー部用具倉庫は、風雨にたえてきましたが、時間と共に風化し、破損箇所が多くなりました。そこで、南相馬市教育委員会所属の主任技能労務員、鈴木健一さんに修理を依頼し、見事に修繕していただきました。鈴木さんは長年にわたり市内の学校修繕を担当し、多くの学校施設や備品の営繕担当を担っているエキスパートです。ありがとうございました。

石神中学校ホームページ(HP)では、身近な学校の様子や生徒の活躍などを紹介しています。HPはカラー版となっていて見やすいです。マチコミと合わせてご覧いただければ幸いです。

# 新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開ガイドライン

(令和2年3月24日) 抜粋

文部科学省

## 1 保健管理等に関すること

### (1) 基本的な感染症対策の実施

#### ① 感染源を絶つこと

次の方法により、発熱等の風邪の症状がみられる児童生徒等については、自宅で休養させることを徹底すること。教職員についても同様の対応とすること。

◎ 家庭と連携した毎朝の検温及び風邪症状の確認

◎ 登校前に確認できなかった児童生徒等については、保健室等での検温及び風邪症状の確認

#### ② 感染経路を絶つこと

手洗いや咳エチケットを徹底する。

また、学校医及び学校薬剤師などと連携した保健管理体制を整え、教室やトイレなど児童生徒等が利用する場所のうち、特に多くの児童生徒等が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、適宜、消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を使用して清掃を行うなどして環境衛生を良好に保つ。

#### ③ 抵抗力を高めること

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけるよう指導する。

## 2 学校においては次のような対応を行うこと

### (1) 換気の徹底

教室等のこまめな換気を実施すること（可能であれば2方向の窓を同時に開けること）。その際、衣服等による温度調節にも配慮すること。

### (2) 近距離での会話や発声等の際のマスクの使用等

多くの学校においては人の密度を下げることに限界があり、学校教育活動上、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じることが考えられることから、飛沫を飛ばさないよう、咳エチケットの要領でマスクを装着するよう指導すること。

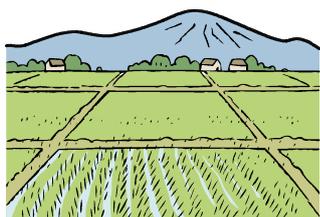
※右の写真は本校での取組の様子



## 子どもたちに伝えたい名言とことわざ②

5月中旬を過ぎた今、田植えが終わり、かえるの音が響いていると、日本の原風景が輝いて見えます。これから、苗が育ち、秋の収穫に向けて懸命に育っていく様子から、稲穂をテーマにしたことわざも多く作られてきました。

### 実るほど頭の下がる稲穂かな (みのるほど あたまのさがる いなほかな)



稲穂は実れば実ほど、穂が重たくなって垂れ下がることから、人間でも優れた人物であればあるほど、威張ったり命令したりせず腰を低くして頭を下げるものだという教えです。自分より弱い立場の人に対して、威張って命令したり、馬鹿にしたりする友達は持ちたくありません。

誰にでも優しく接する人は、誰からも信頼され、それが人間としての価値を決めるのだと思います。～実るほど頭の下がる稲穂かな～

